



寒かった冬が終わり、
過ぎやすい季節となってきました。
今年もいろいろな春の花が
きれいに咲いています。

新人職員の紹介



山隈 京子
(従来型特養)
令和8年2月7日入職

好きな食べ物… メロン、精進料理
趣味…………… 料理の研究、カラオケ
職場への意気込み…
できることは何でも全力を尽くします。



天野 知美
(ユニット型特養)
令和8年2月24日入職

好きな食べ物… ぎょうざ
趣味…………… 音楽鑑賞
職場への意気込み…
お仕事、がんばります。

理事会・評議員会

3月11日(水)に理事会、19日(木)に評議委員会を開催し、
来期予算、事業計画について審議いたしました。

寄付金

団体1件 1,000,000円
(令和8年1月～3月)
ありがとうございました

看護室だより

春は、穏やか、過ごしやすく快適というイメージもありますが、「三寒四温」という言葉どおり、日ごとの寒暖差に、なかなか体がついていかず、自律神経の乱れや、春先特有の疾患など、体調の不調を感じる方が多い季節でもあります。春の体調不良を改善する一つの方法として、体を温めることが効果的だと言われています。

- 38℃～40℃のぬるま湯に10分から15分浸かり、体を温めましょう。
- 生姜、葱、三つ葉などの体を温める効果のある食材を入れた、バランスの良い食事を定期的に摂りましょう。
- 日光を浴び、軽いストレッチや散歩などで、血行を良くしましょう。

体を温めると免疫力がアップし、いろいろな病気の予防にも繋がります。ゆっくり、のんびり、リラックスして過ごしましょう。

栄養室だより

●丈夫な歯にするために必要な栄養素

カルシウム

歯を作るために必要です。



ビタミンD

カルシウムの吸収を助けます。



たんぱく質

歯茎を丈夫にします。



●咀嚼(噛むこと)の大切さ

脳に刺激が与えられ、脳に流れる血液量が増えます。脳細胞の働きが活発になり、認知症予防になると言われています。



●オーラルフレイル

オーラル(口腔の)フレイル(虚弱)は口腔機能の低下による衰えのことです。滑舌が悪くなる、食べこぼしが多くなる、むせる、噛めない食品の増加といったことが挙げられます。



編集 後記

暖かな春の陽気に包まれ、令和8年度がスタートしました。新年度となり、新たな出会いや環境の変化などで期待と不安でいっぱいの方も多いのではないのでしょうか。不安な気持ちは皆さん一緒ですね。焦らず、ゆっくりご自身のペースでぼちぼちやっていきましょう。今年度も皆さんに「さわやか」なお便りをお届けいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

広報委員一同



ホームページは
こちらから

4度目の春

社会福祉法人 敬親会
特別養護老人ホーム さわやか園
常務理事・施設長 岡森 久剛



私がさわやか園の施設長を拝命してから、丸3年が経ちました。その間何をしてきたかという事を述べるつもりはありません。目指すは未来です。3月の理事会では今期の計画が承認されました。介護現場での稼働率は98%、在介30件、デイ83%に加えて、青蓮寺オーラックと共に、過去最高の売上を目指します。一方で、施設の老朽化が進み、設備更新や修繕などの費用が年々増加している状況にあります。介護を取り巻く環境が大きく変化の中で安定した施設運営を続けていくためには、経営面での工夫と改善がこれまで以上に求められます。

特養は地域の高齢者とそのご家族を支える大切な社会資源です。これからも安心してご利用いただける施設であり続ける為に職員一同力を合わせて運営改善とサービス向上に取り組んでまいります。

今、施設は立て直しの途中です。私自身今も悩んでいるのは、企業経営と福祉文化です。この間に立ち、2つのバランスをとることが重要だということです。これが難しい。また、再建途中ではありますが、基盤はできつつあると確信しています。そして、私のような再建型の短期経営を目指す人間が併行して取り組むべきは「世代交代と再構築」です。今自分がやっている事は「特養の企業再建」、

「経営改善型の責任者」という認識です。そして現実的な読みとしてあと4年で再建できると踏んでいます。しかし、今は再建の一番しんどい谷にいてことを実感しています。これは勘ですが、改革スピードを少し落とすことの方がいいのかもしれない。福祉文化が私にはまだ理解できにくい部分があるから。そこで、私、施設長一人に権限を集中することを避け、企業でいう「執行役員制度」を導入して権限分散することを考えています。施設長一人モデルではなく、経営チームモデルです。そして、権限分散と、意思決定の共有、後継育成を同時に進めていきたい。私は仕事を戦いだと考えています。そして、施設を良い状態にして、次の世代に引き渡す事が私に与えられた任務であり使命です。つまり、再建を完成させることではなく、「軌道に乗せる事」を目指しています(これは私がくたびれてきた証かもしれません)。

「自分がやらなければ」と思ってきたことを「組織がやる」。「一人で判断」を「意思決定を分散してやる」ことが重要だと。

私は、最初から福祉理念で来たわけではありません。つまり、「施設」より「組織と雇用」でした。いろんな福祉業界の会合に参加しても違和感があるのは、おそらくこのため「福祉施設長」ではなく「企業再建者」として「組織を守ること」という役割意識が大きくウエイトを占めているからでしょう。

私は「再建したら去る」人間ですが、そんな私も神様、仏様を頼り、ご利益を願ってしまいます。しかし、大切なのは頼る前に努力する。まずは自分自身がベストを尽くす。それでも足りない時は、神仏を尊ぶことにより、少しお力をいただく。私を含め、職員一同がその「本気度」が試される時期に来たのです。「自分の家は自分自身で守る」。プロとしての集団の真価がこれから問われるのです。